

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床実習	1年次	必修	実習	7単位（210時間）	相田 武則
授 業 概 要					
医療における臨床工学技士の重要性を臨床の現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を身につける。					
到 達 目 標					
1）医療技術者として患者様と適切に接することができる。 2）チーム医療における臨床工学技士の役割について考えることができる。 3）臨床において臨床工学技士に必要とされる基礎知識や技術について知る。					
実務経験のある教員					
中野 広基 外山 竹弥 相田 武則：病院での臨床経験を踏まえ臨地実習に必要とされる技術・知識の到達度評価を行う。また、各臨床実習指導者と連携しながら臨床工学の基本的な知識や技術習得が達成できるよう調整役としてサポートする。					
回	学 習 内 容				担当教員
	各項目について1単位（30時間）の実習を行う。 1．血液浄化療法関連実習 2．呼吸療法関連実習（集中治療室と手術室での実習を含む） 3．循環器関連実習（集中治療室と手術室での実習、及び人工心肺装置の実習を含む。人工心肺関連、補助循環関連、ペースメーカー関連、集中治療関連、手術関連（周術期を含む）、鏡視下手術における視野確保関連） 4．治療機器関連実習（心・血管カテーテル治療関連、静脈路確保関連行為関連） 5．医療機器管理業務実習（保守点検関連） 6．その他臨床での実習（医療機関各部門の見学実習、臨床支援技術実習、振り返り等） 7．学内実習（臨床実習前後の技術・知識の到達度評価）				実習指導者 〃 〃 〃 〃 〃 〃 中野/外山/相田
学 習 方 法					
臨床工学技士が働く臨床現場について学べる貴重な機会である。自ら積極的にメモや質問をするなどして、不明な点は必ず解決しておくこと。					
評 価 方 法					
レポートおよび臨床実習前後の技能修得到達度評価を参考に評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
なし					